

1996.04.01

株式会社スリーボンド

技術資料

ThreeBond 1377N

嫌気性封着剤嵌合用

1. 概要

ThreeBond 1377Nは速硬化、高強度タイプの嵌合用嫌気性封着剤です。空気に触れている間は硬化せず、金属部品等の締結部に入ると急速に反応し重合硬化して、嵌合部等の接着及びシールをします。また、紫外線硬化性を付与しているので、はみ出した接着剤は紫外線により硬化することができます。

2. 特長

- ①速硬化、高強度
- ②低温硬化性良好
- ③中～高粘度、チクソ性有り、作業性良好
- ④紫外線硬化性付与

3. 用途

嵌合部等の接着、シール

4. 性状

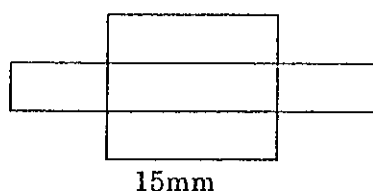
4. 1 液状

試験項目	単位	ThreeBond 1377N	試験方法	備考
主成分	—	マクリル酸エステル		
外観	—	緑色透明	3TS - 201 - 01	
粘度	mPa・s{cP}	1500{1500}	3TS - 210 - 02	
比重	—	1.12	3TS - 213 - 02	
引火点	℃	100 以上		

4. 2 硬化後

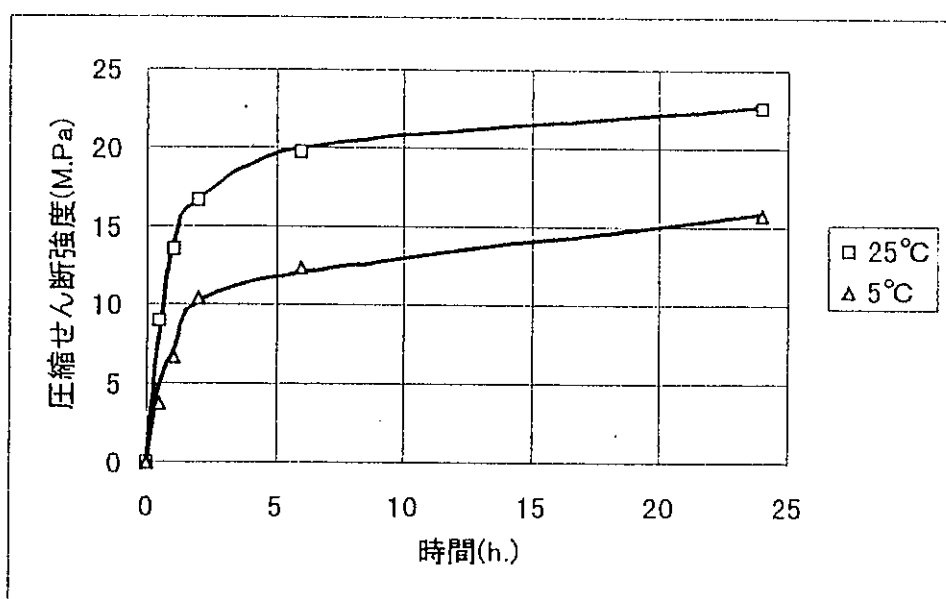
試験項目	単位	ThreeBond 1377N	試験方法	備考
主成分	—	ポリマクリル樹脂		
外観	—	緑色	3TS - 201 - 01	
使用温度範囲	℃	- 40～120		
接着強度	MPa{kgf/cm ² }	31.8{324}	3TS - 305 - 01	25℃×24 時間

ThreeBond



6Φ 圧縮せん断強度測定用テストピース
材質：SS400/S45C

5. 硬化速度



試験条件 試験片に ThreeBond 1377N を塗布し、25℃及び 5℃にて養生、各時間に圧縮せん断強度を測定

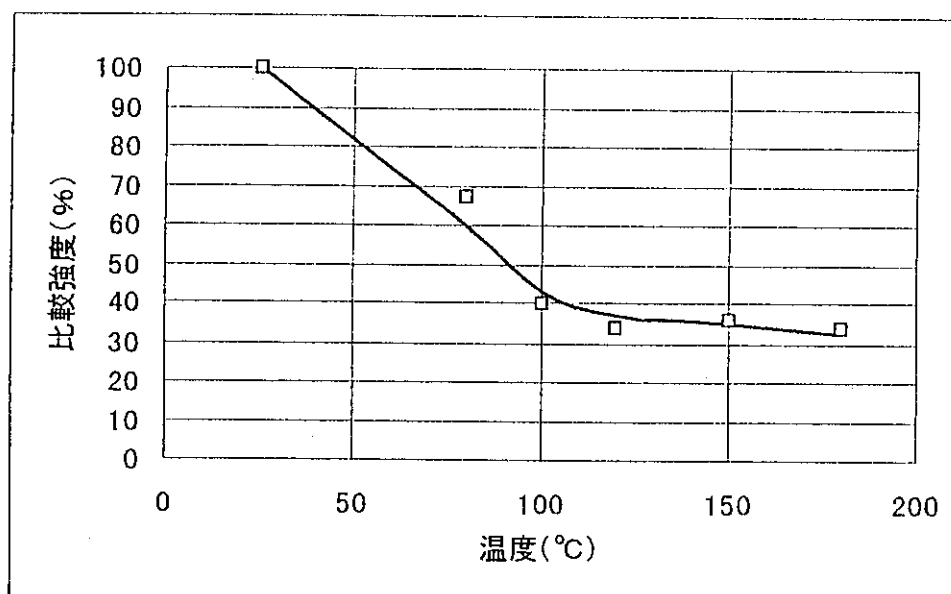
6. ステンレス、アルミニウム接着強度

	1 時間	24 時間
ステンレス 304	17.9{183}	28.4{290}
アルミニウム	12.4{127}	29.6{302}

単位 MPa{kgf/cm²}

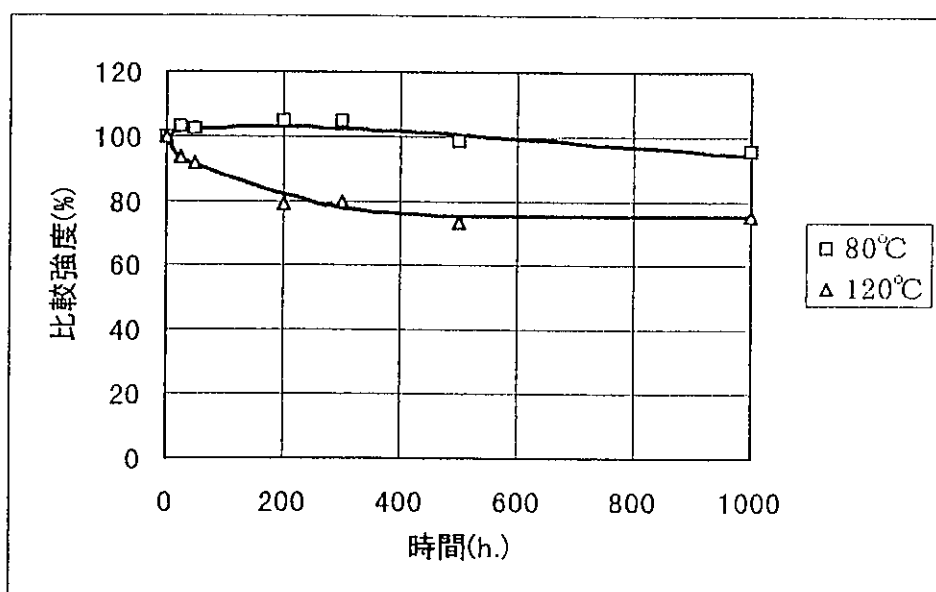
試験条件 各種材質の試験片（サイズは上記と同じ）に ThreeBond 1377N を塗布し、25℃で 1 時間及び 24 時間養生後圧縮せん断強度を測定

7. 熱時強度



試験条件 試験片に ThreeBond 1377N を塗布し、25℃で 24 時間養生した後、各温度下にて 1 時間放置し、その温度下にて圧縮せん断強度を測定

8. 熱劣化



試験条件 試験片に ThreeBond 1377N を塗布し、25℃で 24 時間養生後、各温度下にて、各時間後に取りだし、25℃で 1 時間放置後圧縮せん断強度を測定

9. 取り扱いの注意

工業用

(家庭用には使用しないでください)

- 1) 記載のデータなどの技術情報については、当社規定の試験方法による実験値であり、十分信頼のおけるものでありますが、正確性と安全性についての絶対的な保証は致しかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途、目的にかなっているかどうかを必ずご使用前にご確認ください。
- 2) 本製品の誤った取り扱いによる障害または損害については責任を負いかねます。
- 3) 硬化速度は、材質の種類、クリアランス、温度等によって変化します。ご確認の上ご使用ください。
- 4) 接着剤は有害ですので、直接触れたり蒸気を吸ったりしないようにしてください。皮膚に付着した場合、炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は直ちに布、紙などで拭き取り、石けん水で洗浄してください。目に入ったときは流水で15分位洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 5) 取り扱い時はマスク、手袋（浸透しないもの）、眼鏡などの保護具を使い、通風のよい屋外か、局所排気装置のある場所で使用してください。
- 6) 使用時、人体に異常があったときは取り扱いをやめ医師の診断を受けてください。
- 7) 接着剤は有害成分を含むので、上水用、給湯用の配管には使用できません。使用方法や用途が適切かどうか十分確認の上ご使用ください。
- 8) 接着剤を他の容器に移したり、使い残しを元の容器に戻したりしないでください。
- 9) 材質によっては、本接着剤が悪影響（クラック、腐食、溶解等）を与えることがあります。あらかじめ使用箇所及び周辺箇所への影響を確認し、問題がある場合は使用しないでください。
- 10) 変質や異物混入を避けるため使用後はきちんとキャップを閉めて保管してください。
- 11) 本商品は光のあたらない5～25℃の場所で保管してください。
- 12) 塗布機による塗布作業に際しては金属ノズルの使用は避けてください。
- 13) 本商品は消防法では第四類第三石油類に該当します。引火の危険性は低いですが、貯蔵、取り扱いには十分注意してください。